

# ぶらり探しが可能な Web 書店の構築

048139 山口 大輔

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

現状の Web 書店は利用者が目的の書籍を検索し、購入するのが一般的な利用方法である。しかし一般書店の利用者は、最初から特定の書籍を購入するために書店に入るのではなく、何かないかというように書店に入ってから本を探すこともある。これを本研究では「ぶらり探し」と定義する。現状の Web 書店ではぶらり探しが行いづらいという問題点がある。

そこで本研究では、Web 書店でも実際の書店のような快適なぶらり探しが実現でき、現状の Web 書店より使いやすくすることによって、Web 書店と実際の書店の両方の長所を持ち合わせた Web 書店の構築を目標に開発を行った。



図2 システム画面

## 2. システム概要

本システムは Amazon Web サービスを利用し、Amazon より書籍情報を取得している (図1)。

利用者が検索を行うと画面上に書籍の表紙の画像が一覧となって並び、マウスの操作により自由に書籍を見て回ることができる (図2)。マウスの操作はドラッグで上下左右への移動、マウスホイールで画像の拡大縮小を行うことができる。

また利用者はジャンル、著者名、出版社名の中から検索で書籍を絞ることができる。その際キーワードは入力せず、動的な対話型選択メニューによりページ遷移をすることなく検索を行える。それにより特定の書籍がなくてもぶらり探しの足掛かりとして検索を利用できる。

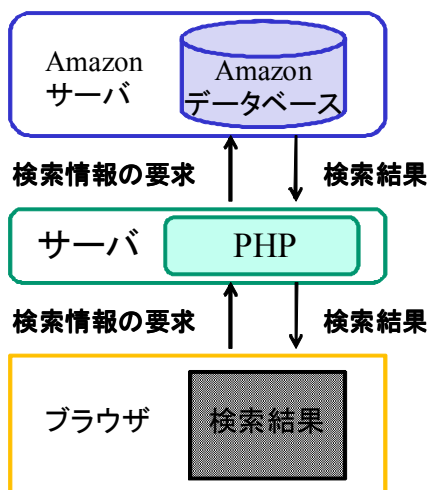


図1 システム構成図

## 3. 評価

学生9人に実際にシステムを利用してもらい、アンケートを取って評価した。その結果、表1のように9人全員が概ねぶらり探しを行うことができたという結果となり、現状の Web 書店よりも使いやすいという意見も多くみられた。

しかし、書籍の並び方や、情報の表示など、使い勝手は良くてもそれに見易さやわかりやすさといった点が見合っていないため、まだまだ改善の余地はある。

表1 アンケートによる評価結果

	1 (悪)	2	3	4 (良)
書店でぶらり探するよ うな感覚で、書籍を見て回 ることができたと思うか			4	5

## 4. おわりに

現状の Web 書店ではぶらり探しを行い難いという問題に対して、キーワードの入力を必要としない検索を用い、一つの画面上に書籍の画像を並べ、利用者がマウスの操作で自由に書籍を探せるインターフェイスの実現によって、本システムでの問題解決が可能であることがわかった。

しかし、完成度を高めるためには、今後のシステムの改善が必要である。